

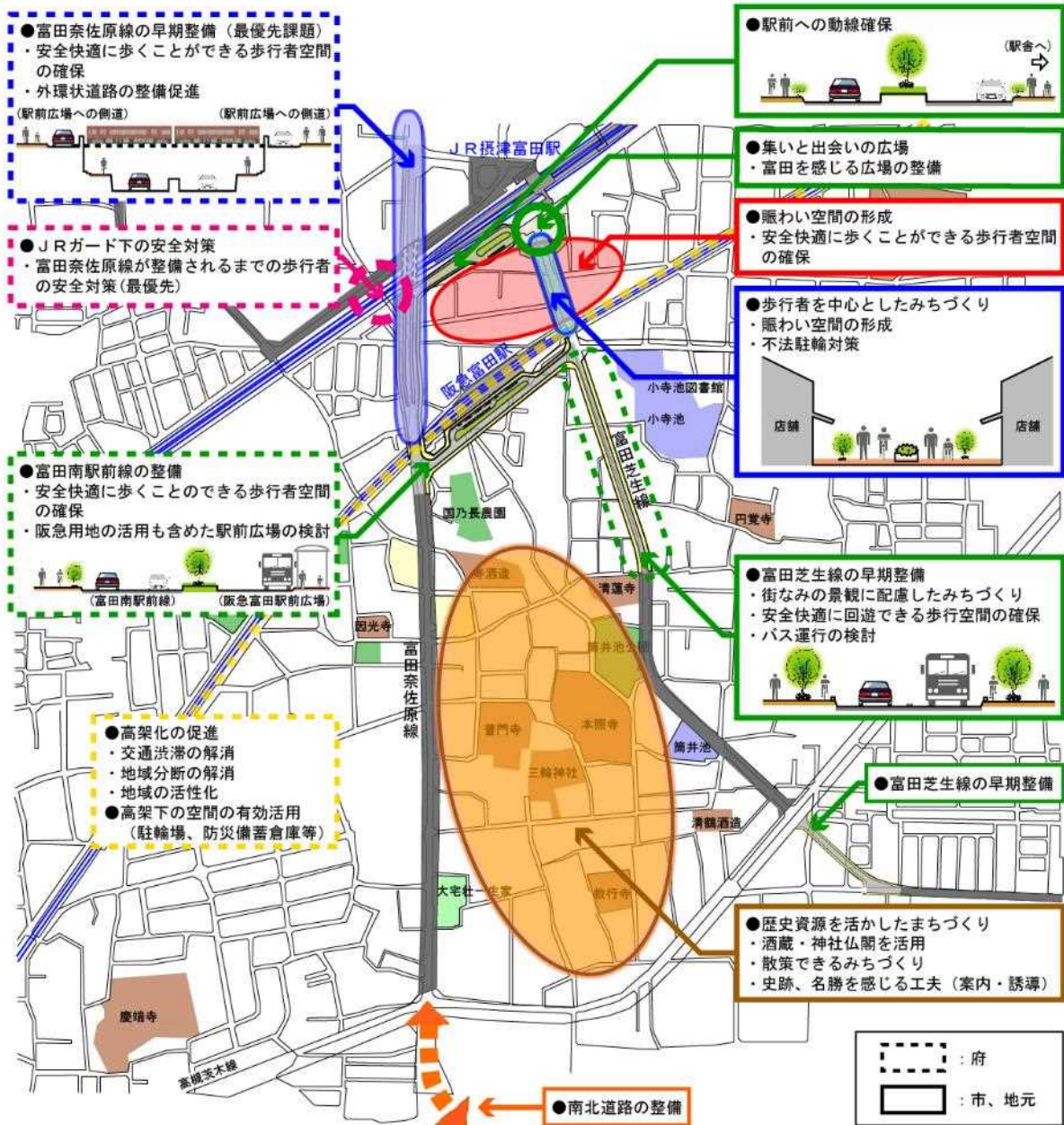
## 案件 2 富田地区のまちづくりについて

### 目 次

- 1 取組方針
- 2 取組状況

# 1 取組方針

## 富田地区交通まちづくり基本構想



※富田地区交通まちづくり基本構想：市が富田地区交通まちづくり研究会の成果を踏まえ平成21年4月に策定

### まちづくりの基本方針

- 1 誰もが安全快適に歩けるまちづくり
- 2 駅周辺の賑わいと活力のあるまちづくり
- 3 歴史資源を活かしたまちづくり

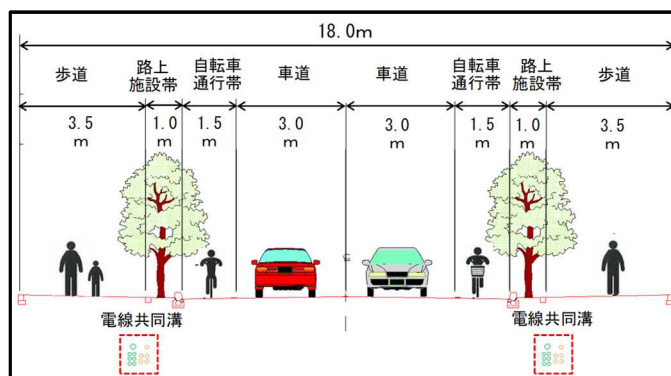
## 2 取組状況

### 2-1 まちづくりの基本方針に基づく取組

#### ■ (都) 富田芝生線の整備

##### (1) 概要

場 所	清蓮寺～阪急富田東踏切
延 長	L=335m
計画幅員	W=18m (現道 9mを西側に拡幅)
事業期間	平成 23 年度～令和 2 年度

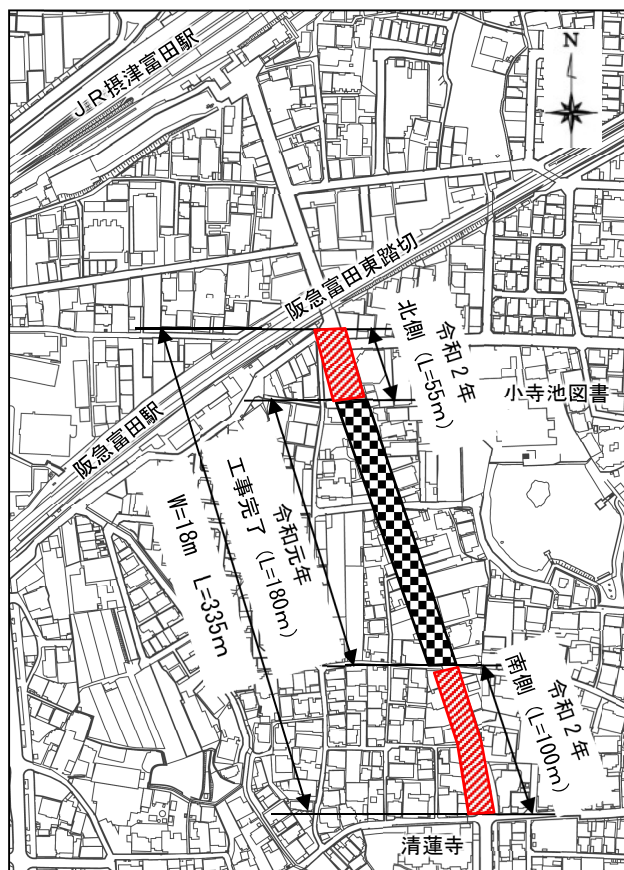


##### (2) 取組状況

###### ① 工事状況

平成 30 年に工事に着手し、昨年度には延長 335mのうち 180m区間の整備を完了。

令和 2 年は、残る北側および南側区間の道路改築工事に着手し、令和 3 年 3 月末の完成を目指す。



着 工 前

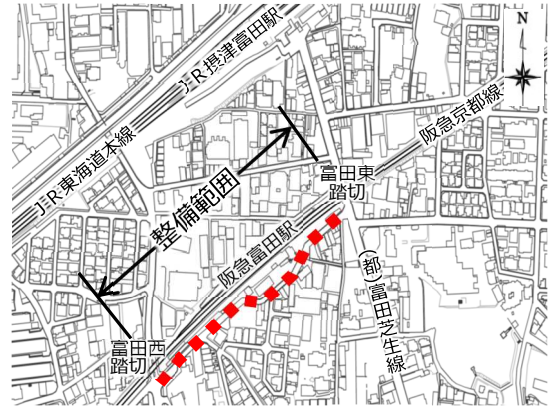


現状 (令和 2 年 12 月)

## ■府道摂津富田停車場線の改良

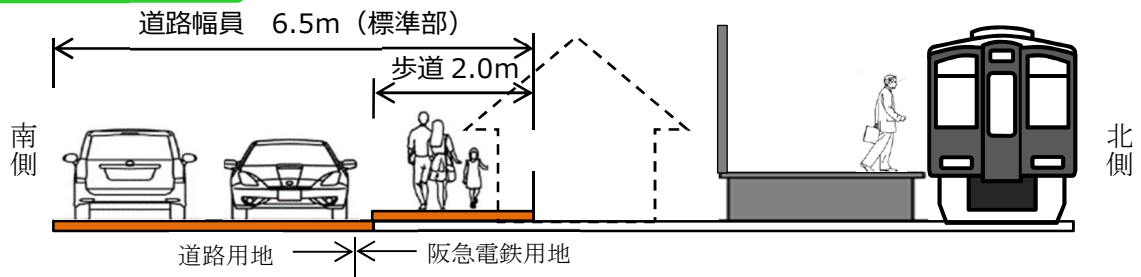
### (1) 概要

目的	高槻市バリアフリー基本構想に基づき、阪急電鉄用地を活用した生活関連経路の歩道を整備
事業主体	大阪府
延長	L=約 270m
計画幅員	W=6.5～11.5m



### (2) 整備イメージ

阪急鉄道用地を活用



### (3) 現在の状況

令和2年8月完成

○ 状況



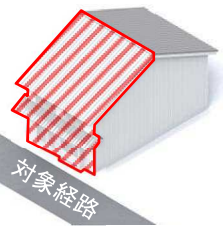
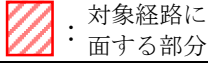
## ■富田まちなみ環境整備事業

### (1) 目的

地域が主体となった歴史的なまちなみの形成や維持に向けた取組を支援することにより、富田地区の魅力向上、交流人口の増加及び地区住民の愛着心の向上を図る

### (2) 概要

#### ①建築物等の修景助成

対象経路	鉄道駅と歴史資源を結ぶ経路（右図）
対象者	対象経路に面する部分の修景を行う建築物等の所有者等  
内容	修景基準に基づく工事に要する費用の一部を助成（助成率5/10以内） <ul style="list-style-type: none"> <li>● 建築物 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修景基準の項目全てを満たすもの 限度額 300 万円</li> <li>・ 色彩項目とこれ以外の 1 つ以上の項目を満たすもの 限度額 100 万円</li> </ul> </li> <li>● 工作物 限度額 100 万円</li> <li>● 屋外広告物 限度額 30 万円</li> </ul>



#### ②団体活動助成

対象者	富田の歴史資源を活かしたまちづくりに取り組む市民団体等
内容	富田らしい歴史と趣のあるまちなみの再創出を目的とした活動に要する費用の一部を助成（助成率8/10以内） ※限度額 10 万円

### (3) 活用実績

#### ①建築物等の修景助成

平成 28 年度：1 件、平成 29 年度：2 件、平成 30 年度：1 件、令和元年度：1 件 計 5 件  
（令和 2 年度：事前相談 2 件）

#### ②団体活動助成

平成 27 年度：1 件、平成 28 年度：1 件、平成 29 年度：1 件 計 3 件

## 2-2 まちづくり基本構想のさらなる推進に向けた取組

### ■ JR京都線茨木・高槻間における鉄道高架化の検討

#### 1 令和元年度までの取組

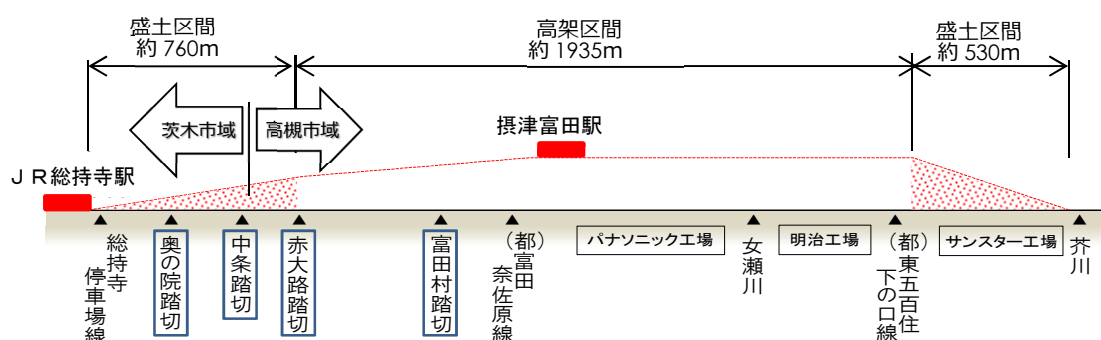
##### (1) 検討概要

名 称	J R 京都線茨木・高槻間における鉄道高架化勉強会
目 的	茨木・高槻間における交通及びまちづくりの課題解決に向け、鉄道高架化とまちづくりの可能性を検討
構 成 員	J R 西日本、茨木市、高槻市の部長級 オブザーバー：大阪府交通道路室

##### (2) 取組内容

年度	取組内容
平成 27 年度～ 平成 29 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鉄道高架化勉強会を開催（計 9 回） <ul style="list-style-type: none"> <li>・高架化範囲を J R 総持寺駅～芥川間とし、茨木・高槻間のまちづくり課題、鉄道と道路の立体交差手法とその効果について検討</li> <li>・検討の深度化により、高架化範囲を都市計画道路東五百住下の口線から芥川に向け一定勾配で降下させ、芥川を高架化の範囲から外した J R 総持寺駅～川西中学校間で検討</li> <li>・国費の採択基準を満たすことを確認</li> </ul> </li> </ul>
平成 30 年度～ 令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鉄道高架化勉強会を開催（計 2 回） <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府へ事業化の検討を要望</li> </ul> </li> </ul>

##### (3) 概要図



## 2 令和2年度の取組

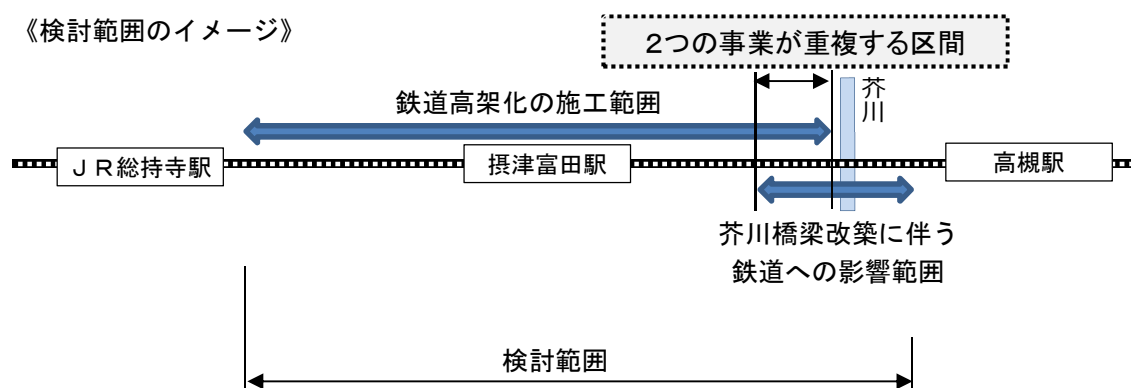
### (1) これまでの検討課題

鉄道高架化	芥川河川改修
<p>○費用便益分析等により、連立の国費採択基準を満たすことを確認</p> <p>○2市にまたがる事業であること等から、大阪府が事業主体となった事業化の検討を要望</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>○大阪府は、除却する踏切が市道であることや多額の残事業があることなどから大阪府が主体となった事業化の検討は現時点では困難とされ、まずは高槻市が主体となり検討の熟度を高めることが必要と判断</p>	<p>○芥川河川改修事業は、大阪府の河川整備計画に位置づけされている優先度が高い事業であり、近年の気候変動を踏まえ、早期の整備を要望</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>○河川改修には、JR芥川橋梁の架け替えが必要となり、多額の費用を要することから事業実施が困難な状況であり、現在は「凌ぐ」施策として堤防強化を実施中</p>

### (2) 令和2年度の取組内容

取組内容
<p>○近年の気候変動を踏まえ、早期に抜本的な整備が求められる芥川橋梁の改築を含めた検討について、大阪府河川室に勉強会への参加を依頼</p> <p>○鉄道高架化勉強会を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府河川室が鉄道高架化勉強会にオブザーバーとして参加</li> <li>・芥川橋梁の改築と鉄道高架化の相互の影響等について検討を開始</li> </ul>

### (3) 検討範囲



## 3 今後の検討方針

勉強会では、2つの事業は一部区間で重複する事業であり、鉄道高架化と芥川河川改修の同時施工に伴う整備効果やメリットについて、検討することに合意

#### 《今後の取組》

- ・同時施工における事業費の削減効果や事業期間短縮の検討
- ・事業の実現・関係者の合意に向けた協議・調整